

## 安全データシート

作成日 2024年7月1日

## 1. 化学品及び会社情報

製品(名): ECボンド 主剤  
化学物質分類: エポキシ樹脂  
製造業者名: 日米レジン株式会社  
大阪府岸和田市臨海町15番地  
緊急電話番号: 072-438-0321  
整理番号: 002602 00012A  
推奨用途: 一般・工業用接着剤  
使用上の制限: 推奨用途以外への使用禁止

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入 ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入 蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入 ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1A	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2 区分3	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2	
誤えん有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2
	オゾン層への有害性	分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H319 - 強い眼刺激  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H360 - 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
H371 - 臓器の障害のおそれ(11章参照) H335 - 呼吸器への刺激のおそれ H336 - 眠気またはめまいのお  
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(11章参照)  
H401 - 水生生物に毒性  
H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 注意書き

## 予防策

P102 - 子供の手の届かないところに置くこと。  
P103 - 使用前にラベルをよく読むこと。  
P203 - 使用前にすべての安全説明書を手し、読み、従うこと。  
P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
P264 - 取扱い後はよく洗うこと。  
P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P271 - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P273 - 環境への放出を避けること。

緊急処置	<p>P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。</p> <p>P318 - 暴露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること</p> <p>P319 - 気分が悪いときは、医療処置を受けること</p> <p>P321 - 特別な処置が必要である。(4章の応急措置を見よ)</p> <p>P391 - 漏出物を回収すること。</p> <p>P302+P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。</p> <p>P304+P340 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>P308+P316 - ばく露又はその懸念がある場合: すぐに救急の医療処置を受けること。</p> <p>P337+P317 - 眼の刺激が続く場合: 医療処置を受けること。</p> <p>P362+P364 - 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。</p> <p>P305+P351+P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p>
保管	<p>P405 - 施錠して保管すること。</p> <p>P403+P233 - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。</p>
廃棄	<p>P501 - 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従ってに廃棄する。</p>

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物  
 化学名又は一般名: エポキシ樹脂  
 組成及び含有量, 成分量

化学物質名	含有量(%)	CASNo.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	40～50	1675-54-3	7-1279 7-1283
反応性希釈剤	10～20	登録あり	登録あり
グリシトキシプロピルトリメチシラン	0.6	2530-83-8	2-2071
キシレン	1.2	1330-20-7	3-3 3-60
エチルベンゼン	0.9	100-41-4	3-28 3-60
エタノール	0.4	64-17-5	2-202
メタノール	0.1	67-56-1	2-201
ポルトラントセメント	35～45	65997-15-1	—

### 4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気, ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li> <li>・気分が悪いときには、医師に連絡すること。</li> <li>・蒸気, ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にすること。直ちに 医師の手当てを受けること。</li> <li>・呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。直ちに医師の手当てを受けること。</li> <li>・被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。</li> </ul>
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付着物を布にて素早く取り除く。</li> <li>・直ちに汚染された衣服を脱ぎ去ること。</li> <li>・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤, シンナーは使用しないこと。</li> <li>・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察/手当てを受けること。</li> <li>・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。</li> </ul>
眼に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後の洗浄を続けること。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師の手当てを受けること。</li> </ul>
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。</li> <li>・嘔吐物は飲み込ませないこと。</li> <li>・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。</li> <li>・多量の水を飲ませて吐かせる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。ただし、無理に吐かせようとしてはならない。被災者に意識がない時には何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。いずれの場合も、直ちに医師の手当てを受ける。</li> </ul>

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期・小規模火災: 粉末消火剤, 二酸化炭素, 耐アルコール性泡消火剤, 散水</li> <li>・大規模火災: 水噴霧, 耐アルコール性消火剤</li> <li>・棒状注水をしないこと</li> </ul>
使ってはならない消火剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報なし</li> </ul>

火災時の危険有害性	<ul style="list-style-type: none"> <li>加熱により容器が爆発する恐れがある。</li> <li>火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。</li> <li>加熱により蒸気が空気と爆発性混合気を生成するおそれがある。</li> <li>屋内、屋外又は下水溝で爆発の危険がある。</li> </ul>
特定の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。</li> <li>危険でなければ周囲から可燃性のものを素早く取り除く。</li> <li>指定の消火剤を使用する。</li> <li>消火活動は風上より行う。</li> <li>高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。</li> </ul>
消火を行う者の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。</li> <li>水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。</li> <li>火災発生場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。</li> <li>消火作業の際には適切な空気呼吸器,化学用防護服を着用する。</li> <li>消火作業は風上から消火作業を行う。</li> </ul>

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業の際には適切な保護具(手袋,保護マスク,前掛け,ゴーグル等)を着用する。</li> <li>周辺を立ち入り禁止にして,関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。</li> <li>付近の着火源,高温体及び可燃物を素早く取り除く。</li> <li>関係者以外の立ち入りを禁止する。</li> <li>着火した場合に備えて,適切な消火器を準備する。</li> <li>密閉された場所に入る前に換気する。</li> <li>風下の人を避難させる。</li> </ul>
環境に対する注意事項 封じ込め及び 浄化方法と機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>流出した製品が河川等に排出され,環境中に影響を起ささないように注意する。</li> <li>漏出物は,密閉できる容器に回収し,安全な場所に移す。</li> <li>付着物,廃棄物などは,関係法規に基づいて処理すること。</li> <li>衝撃,静電気等で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。</li> <li>乾燥砂,土,その他の不燃性のものに吸収させて回収する。</li> <li>大量の場合には盛り土で囲って流出を防止する。</li> <li>回収物,廃棄物などは,関係法規に基づいて処理すること。</li> <li>ヘラ等でかきとり,あるいは砂,ウエス等に吸収させて密閉できる容器に回収する。残りは拭き取る。</li> </ul>

## 7. 取扱い及び保管

取扱い	
《技術的対策》	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密閉する。</li> <li>周辺で火気,スパーク,高温物の使用を禁止する。</li> <li>作業中は,帯電防止型の作業服,靴を使用する。</li> <li>工具は火花防止型のものを使用する。</li> <li>火気厳禁 喫煙,裸火,熱又は発火源を避ける。</li> <li>吸入,眼や皮膚への接触を防ぐため,適切な保護具を使用する。</li> <li>局所排気装置の設置等,通気の良い作業場所で使用する。</li> <li>正しい作業実施法を定めて遵守する。</li> </ul>
《注意事項》	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済みのウエス,塗料カス,スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。</li> <li>皮膚,粘膜,又は着衣に触れたり,眼に入らぬように保護具を着用する。</li> <li>取扱い後は手・顔等を良く洗い,休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。</li> <li>こぼしたり飛散しないようにし,蒸気やミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。</li> <li>強酸,脂肪族アミンと反応するので,十分注意する。</li> <li>混合パッチスケールが大きくなるに従って発熱温度も高くなるので,十分注意する。</li> <li>使用済み容器は一定の場所を定めて集積する。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防法等の関連法規に基づき保管する。</li> <li>日光の直射を避け,湿気,火気・熱源のない冷暗所に保管する。</li> <li>盗難防止のため施錠保管する。・子供の手の届かないところに保管する。</li> <li>混触禁止物質:強酸化剤,強ルイス酸,強無機酸との混触を避ける。</li> </ul>

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

化学物質名	管理濃度 (ppm)	許容濃度 (ppm)
キシレン	50ppm	50ppm (217mg/m <sup>3</sup> )
エチルベンゼン	20 ppm	50ppm (217mg/m <sup>3</sup> )
メタノール	200ppm	200ppm (260mg/m <sup>3</sup> ) (皮膚吸収) (2009年版)
ポルトランドセメント	未設定	(吸入性粉じん) 1mg/m <sup>3</sup> (総粉じん) 4mg/m <sup>3</sup>

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。</li> <li>・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。</li> <li>・作業場所、休憩所等には、洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設置する。</li> </ul>
保護具	
呼吸器の保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機ガス用防毒マスクを使用する。</li> <li>・密閉された場所では送気マスクを使用する。</li> </ul>
手の保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。</li> </ul>
眼の保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱いには保護メガネ(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。</li> </ul>
皮膚・身体の保護具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長袖の衣服を着用し、必要に応じ長靴、耐油性の合成樹脂又は、ゴム製の前掛け、腕カバー等の皮膚を直接暴露させないような衣服をつけること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。</li> </ul>
衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱い後は、よく手を洗う。</li> </ul>

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液状
色	白色
臭い	樹脂臭
融点/凝固点	データなし
沸点または初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界	データなし
引火点	150℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
比重(相対密度)	1.44 (20℃,代表値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データなし</li> </ul>
化学的安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常温。常圧の通常の取扱いでは安定である。</li> <li>・流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。</li> </ul>
危険有害反応性の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基(特に1,2級脂肪族アミン)と激しく反応する。</li> </ul>
避けるべき条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高温加熱</li> <li>・直射日光下での放置</li> </ul>
混触危険物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基(特に1,2級の脂肪族アミン)</li> </ul>
危険有害性のある 分解生成物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルデヒド、酸、有機物。</li> <li>・燃焼等により、CO、低分子モノマー等の有毒性ガスが発生する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セットの硬化剤(アミン類)と反応する。</li> </ul>

## 11. 有害性情報

化学物質名	急性毒性			
	経口(LD50)	経皮(LD50)	吸入(蒸気)(LC50)	吸入(粉塵,ミスト)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分に該当しない (22736mg/kg)	区分に該当しない (>23200mg/kg)	分類できない	分類できない
反応性希釈剤	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルリトキシシラン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
キシレン	区分に該当しない (3500mg/kg)	区分4 (1700mg/kg)	区分4 (6350ppm)	分類できない
エチルベンゼン	区分に該当しない (3500mg/kg)	区分に該当しない (15400mg/kg)	区分4 (4000ppm)	区分に該当しない
エタノール	区分に該当しない (6200mg/kg)	区分に該当しない (20000mg/kg)	区分に該当しない (66280ppm)	分類できない
メタノール	区分4 (1400mg/kg)	区分に該当しない (15800mf/kg)	区分に該当しない (22501ppm)	分類できない
ホルトランドセメント	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない

化学物質名	皮膚腐食性/刺激性	眼損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分に該当しない	区分2A	分類できない	区分1
反応性希釈剤	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルトリメキシラン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
キシレン	区分2	区分2	分類できない	分類できない
エチルベンゼン	分類できない	区分2B	分類できない	区分に該当しない
エタノール	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない
メタノール	分類できない	区分2	分類できない	区分に該当しない
ポルトランドセメント	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

化学物質名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
反応性希釈剤	情報なし	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルトリメキシラン	情報なし	情報なし	情報なし
キシレン	分類できない	分類できない	区分1B
エチルベンゼン	区分に該当しない	区分2	区分1B
エタノール	分類できない	区分1A	区分1A
メタノール	区分に該当しない	分類できない	区分1B
ポルトランドセメント	分類できない	分類できない	分類できない

化学物質名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	分類できない	分類できない	分類できない
反応性希釈剤	情報なし	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルトリメキシラン	情報なし	情報なし	情報なし
キシレン	区分1 中枢神経系、肝臓、腎臓、呼吸器 区分3 麻酔作用	区分1 神経系、呼吸器	区分1
エチルベンゼン	区分3 気道刺激性、麻酔作用	区分1 聴覚器、神経系	区分1
エタノール	区分3 気道刺激性、麻酔作用	区分1 肝臓 区分2 中枢神経系	分類できない
メタノール	区分1 中枢神経系、視覚器、全身毒性 区分3 麻酔作用	区分1 中枢神経系、視覚器	分類できない
ポルトランドセメント	区分3 気道刺激性	区分1 呼吸器	分類できない

## 12. 環境影響情報

化学物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分2	区分2
反応性希釈剤	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルトリメキシラン	情報なし	情報なし
キシレン	区分2	区分2
エチルベンゼン	区分1	区分2
エタノール	区分に該当しない	区分に該当しない
メタノール	区分に該当しない	区分に該当しない
ポルトランドセメント	分類できない	分類できない

化学物質名	生態毒性	残留性・分解性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	甲殻類(オオミシコ) EC50(48h) 1.7mg/L	急速分解性なし 難分解性(BOD分解度0%)
反応性希釈剤	情報なし	情報なし
グリッドキシプロピルトリメキシラン	情報なし	情報なし
キシレン	魚類(ニジマス) LC50(96h) 3.3mg/L	急速分解性なし(BOD分解度39%)
エチルベンゼン	甲殻類(ブラウンシュリプ) LC50(96h) 0.4mg/L	急速分解性ない
エタノール	魚類(ファットヘッドミノ) LC50(96h) >100mg/L	情報なし
メタノール	甲殻類(ブラウンシュリプ) LC50(96h) 1340mg/L	難水溶性なし(水溶解度1.00×106mg/L)
ポルトランドセメント	情報なし	情報なし

化学物質名	生態蓄積性	土壌中の移動性	環境基準	オープン層への有害性
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
反応性希釈剤	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
グリッドキプロピルトリメキシシラン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
キシレン	生物蓄積性が低いと推定 (log Kow=3.16)	情報なし	情報なし	分類できない
エチルベンゼン	生物蓄積性が低いと推定 (log Pow=3.15)	情報なし	情報なし	分類できない
エタノール	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない
メタノール	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない
ポルトランドセメント	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない

### 13 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

3082

国連品名

環境有害物質(液体)

国連分類

9 環境有害物質

容器等級

III

環境有害性

- ・海洋汚染物質に該当

陸上輸送

- ・消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取扱法に該当する場合は、各法令の輸送に定めるところに従う。

海上輸送

- ・船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

- ・航空法に定めるところに従う。

特別な安全対策

- ・取り扱い及び保管上の注意の候の一般注意事項に従う。
- ・容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- ・火気厳禁、天地無用

### 15 適用法令

消防法

第4類第三石油類 危険等級III 指定数量 2000L

労働安全衛生法

- ・名称等を表示すべき有害物(法57条の1,施行令第18条の2別表第9)  
(ビスフェノールA型エポキシ樹脂,キシレン,エチルベンゼン,エタノール,ポルトランドセメント)
- ・名称等を通知すべき有害物(法57条の2,施行令第18条の2別表第9)  
(ビスフェノールA型エポキシ樹脂,キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール,ポルトランドセメント)
- ・強い変異原性が認められた既存化学物質(平成5年5月17日付け基発312号)  
(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)
- ・皮膚刺激性有害物質 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂,グリッドキプロピルトリメキシシラン,キシレン)
- ・特別有機溶剤等 (エチルベンゼン)
- ・第2種有機溶剤等 (キシレン,メタノール)
- ・危険物・引火性の物 (キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール)
- ・作業環境評価基準 (キシレン:50ppm,エチルベンゼン:20ppm,メタノール:200ppm)
- ・リスクアセスメントを実施すべき危険有害物質  
(ビスフェノールA型エポキシ樹脂,キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール,ポルトランドセメント)
- 労働基準法
  - ・疾病化学物質 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂,キシレン,エチルベンゼン,メタノール)
- じん肺法
  - ・該当しない
- 化管法(PRTR法)
  - ・第一種指定化学物質 (グリッドキプロピルトリメキシシラン;0.6%,キシレン;1.2%,エチルベンゼン;0.9%)
- 毒物及び劇物取締法
  - ・該当しない
- 化審法
  - ・優先評価化学物質 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂,キシレン,エチルベンゼン,メタノール)
- 航空法
  - ・該当する (キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール)
- 船舶安全法
  - ・該当する (キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール)
- 海洋汚染防止法
  - ・X類物質 (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)
  - ・Y類物質 (メタノール)
- 港則法
  - ・該当する (エタノール)
- 大気汚染防止法
  - ・該当する (キシレン,エチルベンゼン,エタノール,メタノール)
- 水質汚濁防止法
  - ・該当する (キシレン)

---

**16 その他の情報**

## 主な参考資料

- 1) 化学物質総合情報提供システム (独)製品評価技術基盤機構
- 2) 許容濃度の勧告(2021年度) 産業衛生学会雑誌
- 3) 既存化学物質安全性点検データ 日本化学物質安全・情報センター
- 4) JIS Z 7252(2019) GHSに基づく化学物質等の分類方法
- 5) JIS Z 7253(2019) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法  
—ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

## コメント

記載内容は現時点で入手できる資料,データに基づいて作成しておりますが,記載のデータや評価に関しては,いかなる保証をなすものではありません。新たな情報を入手した場合には,追加・修正を行い改訂いたします。また,注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって,特別な取扱いをする場合には用途・用法及び状況に適した安全対策を実施の上,ご利用下さい。

## 安全データシート

作成日 2024年7月1日

## 1. 化学品及び会社情報

製品(名): ECボンド 硬化剤  
化学物質分類: 変性脂肪族ポリアミン  
製造業者名: 日米レジン株式会社  
大阪府岸和田市臨海町15番地  
緊急電話番号: 072-438-0321  
整理番号: 002602 00012B  
推奨用途: 一般・工業用接着剤  
使用上の制限: 推奨用途以外への使用禁止

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入 ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入 蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入 ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	
誤えん有害性	分類できない	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3
	オゾン層への有害性	分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H302 - 飲み込むと有害  
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷  
H318 - 重篤な眼の損傷  
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H360 - 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
H370 - 臓器の障害(11章参照)  
H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(11章参照)  
H402 - 水生生物に有害  
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

## 注意書き

## 予防策

P102 - 子供の手の届かないところに置くこと。  
P103 - 使用前にラベルをよく読むこと。  
P203 - 使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。  
P251 - 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。  
P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
P263 - 妊娠中および授乳期中は接触を避けること。  
P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

	P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 - 環境への放出を避けること。 P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
緊急処置	P316 - すぐに救急の医療処置を受けること P318 - 暴露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること P321 - 特別な処置が必要である。(4章の応急措置を見よ) P330 - 口をすすぐこと。 P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P301+P317 - 飲み込んだ場合:医療処置を受けること。 P302+P352 - 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 P304+P340 - 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P308+P316 - ばく露又はその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。 P337+P317 - 眼の刺激が続く場合:医療処置を受けること。 P362+P364 - 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P301+P330+P331 - 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 - 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。接触部位を水またはシャワーで洗うこと。 P305+P354+P338 - 眼に入った場合:すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	P405 - 施錠して保管すること。
廃棄	P501 - 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従ってに廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物  
化学名又は一般名: 変性脂肪族ポリアミン  
組成及び含有量, 成分量

化学物質名	含有量(%)	CASNo.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
変性脂肪族ポリアミン	45~55	登録あり	—
メタキシレンジアミン	1.0~8.0	1477-55-0	3-308 3-2888
ペンタエチレンヘキサミン	11.2	4067-16-7	2-164 7-5
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン	5.0~10	2579-20-6	3-2279
N-アミノエチルピペラジン	1.0~5.0	140-31-8	5-961
サリチル酸	1.0~2.0	69-72-7	3-1640
フェノール	0.6	108-95-2	3-481
イソホロンジアミン	<1.0	2855-13-2	3-2286
トリエチレンテトラミン	0.2	112-24-3	2-163 7-5
4-ターシャリブチルフェノール	1.3	98-54-4	3-503

上記の内,分類に寄与する不純物及び安定化添加剤となるもの

化学物質名	含有量(%)	CASNo.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
トリエチレンテトラミン	0.2	112-24-3	2-163 7-5

### 4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気,ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li> <li>・気分が悪いときには、医師に連絡すること。</li> <li>・蒸気,ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にすること。直ちに 医師の手当てを受けること。</li> <li>・呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。直ちに医師の手当てを受けること。</li> <li>・被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。</li> </ul>
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付着物を布にて素早く取り除く。</li> <li>・直ちに汚染された衣服を脱ぎ去ること。</li> <li>・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤,シンナーは使用しないこと。</li> <li>・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察/手当てを受けること。</li> <li>・付着物を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。</li> </ul>
眼に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後の洗浄を続けること。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師の手当てを受けること。</li> </ul>

飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。</li> <li>・嘔吐物は飲み込ませないこと。</li> <li>・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。</li> <li>・多量の水を飲ませて吐かせる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。ただし、無理に吐かせようとしてはならない。被災者に意識がない時には何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。いずれの場合も、直ちに医師の手当てを受ける。</li> </ul>
<b>5. 火災時の措置</b>	
適切な消火剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期・小規模火災：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水</li> <li>・大規模火災：水噴霧、耐アルコール性消火剤</li> <li>・棒状注水をしないこと</li> </ul>
使ってはならない消火剤	・情報なし
火災時の危険有害性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加熱により容器が爆発する恐れがある。</li> <li>・火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。</li> <li>・加熱により蒸気が空気と爆発性混合気を生成するおそれがある。</li> <li>・屋内、屋外又は下水溝で爆発の危険がある。</li> </ul>
特定の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散水以外の消火剤で消火の効果が大きい大きな火災の場合には散水する。</li> <li>・危険でなければ周囲から可燃性のものを素早く取り除く。</li> <li>・指定の消火剤を使用する。</li> <li>・消火活動は風上より行う。</li> <li>・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。</li> </ul>
消火を行う者の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。</li> <li>・水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。</li> <li>・火災発生場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。</li> <li>・消火作業の際には適切な空気呼吸器、化学用防護服を着用する。</li> <li>・消火作業は風上から消火作業を行う。</li> </ul>
<b>6. 漏出時の措置</b>	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、前掛け、ゴーグル等）を着用する。</li> <li>・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。</li> <li>・付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除く。</li> <li>・関係者以外の立ち入りを禁止する。</li> <li>・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。</li> <li>・密閉された場所に入る前に換気する。</li> <li>・風下の人を避難させる。</li> </ul>
環境に対する注意事項 封じ込め 及び 浄化方法と機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流出した製品が河川等に排出され、環境中に影響を起こさないように注意する。</li> <li>・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</li> <li>・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。</li> <li>・衝撃、静電気等で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。</li> <li>・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。</li> <li>・大量の場合には盛り土で囲って流出を防止する。</li> <li>・回収物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。</li> <li>・ヘラ等がかきとり、あるいは砂、ウエス等に吸収させて密閉できる容器に回収する。残りは拭き取る。</li> </ul>
<b>7. 取扱い及び保管</b>	
取扱い	
《技術的対策》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密閉する。</li> <li>・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</li> <li>・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。</li> <li>・工具は火花防止型のものを使用する。</li> <li>・火気厳禁 喫煙、裸火、熱又は発火源を避ける。</li> <li>・吸入、眼や皮膚への接触を防ぐため、適切な保護具を使用する。</li> <li>・局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所で使用する。</li> <li>・正しい作業実施法を定めて遵守する。</li> </ul>
《注意事項》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みのウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。</li> <li>・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬように保護具を着用する。</li> <li>・取扱い後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。</li> <li>・こぼしたり飛散しないようにし、蒸気やミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。</li> <li>・強酸、脂肪族アミンと反応するので、十分注意する。</li> <li>・混合バッチスケールが大きくなるに従って発熱温度も高くなるので、十分注意する。</li> <li>・使用済み容器は一定の場所を定めて集積する。</li> </ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法等の関連法規に基づき保管する。</li> <li>・日光の直射を避け、湿気、火気・熱源のない冷暗所に保管する。</li> <li>・盗難防止のため施錠保管する。・子供の手の届かないところに保管する。</li> <li>・混触禁止物質：強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸との混触を避ける。</li> </ul>

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

化学物質名	管理濃度(ppm)	許容濃度(ppm)
メタキシレンジアミン	未設定	感作性物質 皮膚第1群(2013年度)
フェノール	未設定	5ppm (19mg/m <sup>3</sup> ) 皮膚吸収性あり

設備対策

- ・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。
- ・作業場所、休憩所等には、洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

- ・有機ガス用防毒マスクを使用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを使用する。

手の保護具

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。

眼の保護具

- ・取扱いには保護メガネ(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。

皮膚・身体の保護具

- ・長袖の衣服を着用し、必要に応じ長靴、耐油性の合成樹脂又は、ゴム製の前掛け、腕カバー等の皮膚を直接暴露させないような衣服をつけること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

- ・取り扱い後は、よく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液状
色	黒色
臭い	アミン臭
融点/凝固点	データなし
沸点または初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界	データなし
引火点	120℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度(動粘性率)	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
比重(相対密度)	1.06 (20℃,代表値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

- ・データなし

化学的安定性

- ・常温。常圧の通常の取扱いでは安定である。
- ・流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。

危険有害反応性の可能性

- ・強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基と激しく反応する。

避けるべき条件

- ・高温加熱
- ・直射日光下での放置

混触危険物質

- ・強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基

危険有害性のある

- ・アルデヒド、酸、有機物。

分解生成物

- ・燃焼等により、CO、低分子モノマー等の有毒性ガスが発生する。

その他

- ・セットの主剤(エポキシ樹脂)と反応する。

## 11. 有害性情報

化学物質名	急性毒性			
	経口(LD50)	経皮(LD50)	吸入(蒸気)(LC50)	吸入(粉塵,ミスト)
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	区分4 (660mg/kg)	区分4 (2000mg/kg)	分類できない	区分3 (0.8mg/l)
ヘンタエチレンヘキサミン	区分4 (1350mg/kg)	区分に該当しない (4720mg/kg)	分類できない	分類できない
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	区分4 (1000mg/kg)	区分4 (1700mg/kg)	分類できない	分類できない
N-アミノエチルピペラジン	区分4 (1470mg/kg)	区分3 (880mg/kg)	分類できない	分類できない
サリチル酸	区分4 (1280mg/kg)	区分に該当しない (>2000mg/kg)	分類できない	分類できない
フェノール	区分4(414mg/kg)	区分3(669mg/kg)	分類できない	分類できない
イソホロンジアミン	区分4 (1030mg/kg)	分類できない	分類できない	分類できない
トリエチレントラミン	区分に該当しない (4340mg/kg)	区分3 (805mg/kg)	分類できない	分類できない
4-ターシャリーブチルフェノール	区分に該当しない (2990mg/kg)	区分に該当しない (2318mg/kg)	区分に該当しない	区分に該当しない (5.6mg/l)

化学物質名	皮膚腐食性/刺激性	眼損傷性/眼刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性
変性脂肪族ホリアミン	区分1	区分1	情報なし	区分1
メタキシレンジアミン	区分1	区分1	分類できない	区分1A
ヘンタエチレンヘキサミン	区分2	区分1	分類できない	区分1
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	区分1A	区分1	分類できない	区分に該当しない
N-アミノエチルピペラジン	区分1	区分1	分類できない	区分1
サリチル酸	区分2	区分1	分類できない	区分1
フェノール	区分1	区分1	分類できない	区分に該当しない
イソホロンジアミン	区分1	区分1	分類できない	区分1A
ジエチレントリアミン	区分1	区分1	区分1	区分1
4-ターシャリーブチルフェノール	区分2	区分1	分類できない	分類できない

化学物質名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
ヘンタエチレンヘキサミン	分類できない	分類できない	区分2
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	区分に該当しない	分類できない	分類できない
N-アミノエチルピペラジン	分類できない	分類できない	分類できない
サリチル酸	区分に該当しない	分類できない	区分2
フェノール	区分2	区分に該当しない	区分1B
イソホロンジアミン	区分に該当しない	分類できない	分類できない
トリエチレントラミン	区分に該当しない	分類できない	分類できない
4-ターシャリーブチルフェノール	分類できない	分類できない	区分2

化学物質名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	誤えん有害性
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	区分1 呼吸器	区分1 呼吸器	分類できない
ヘンタエチレンヘキサミン	分類できない	分類できない	分類できない
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	区分2 全身毒性	分類できない	分類できない
N-アミノエチルピペラジン	分類できない	分類できない	分類できない
サリチル酸	区分1 中枢神経系	区分1 中枢神経系	分類できない
フェノール	区分1 神経系、腎臓、心血管系、血液系	区分1 中枢神経系、肝臓、腎臓、心血管、血液系	分類できない
イソホロンジアミン	分類できない	区分2 呼吸器	分類できない
トリエチレントラミン	区分3 気道刺激性	分類できない	分類できない
4-ターシャリーブチルフェノール	区分3 気道刺激性	分類できない	分類できない

## 12. 環境影響情報

化学物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	区分3	区分3
ペンタエチレンヘキサミン	分類できない	分類できない
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	分類できない	分類できない
N-アミノエチルピペラジン	区分3	区分3
サリチル酸	区分3	区分に該当しない
フェノール	区分2	区分2
イソホロンジアミン	区分3	区分に該当しない
トリエチレンテトラミン	区分3	区分3
4-ターシャリーブチルフェノール	区分2	区分2

化学物質名	生態毒性	残留性・分解性
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	魚類(ゴールデンオルフ)96hr LC50=75mg/L	急速分解性なし(BOD分解度22%)
ペンタエチレンヘキサミン	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50(72h) 0.42mg/L	急速分解性なし(BOD分解度0%)
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	情報なし	情報なし
N-アミノエチルピペラジン	甲殻類(オオシジコ) EC50(48h) 32mg/L	急速分解性なし 難分解性(BOD分解度0%)
サリチル酸	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) EC50(96h) 65mg/L	急速分解性あり(BOD分解度88.1%)
フェノール	甲殻類(ネコゼミシジコ属) LC50(96h) 3.1mg/L	急速分解性あり(BOD分解度85%)
イソホロンジアミン	甲殻類(オオシジコ) EC50(48h) 23mg/L	急速分解性なし 難分解性(BOD分解度0%)
トリエチレンテトラミン	甲殻類(オオシジコ) EC50(48h) 31.1mg/L	急速分解性なし(OECD分解度0%)
4-ターシャリーブチルフェノール	甲殻類(ヨコエビ科の一種) LC50(96h) 1.9mg/L	急速分解性なし 難分解性(BOD分解度0%)

化学物質名	生態蓄積性	土壌中の移動性	環境基準	オゾン層への有害性
変性脂肪族ホリアミン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
メタキシレンジアミン	生物蓄積性が低い(BCF<2.7)	情報なし	情報なし	分類できない
ペンタエチレンヘキサミン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキササン	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない
N-アミノエチルピペラジン	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし
サリチル酸	生物蓄積性が低いと推定 (log Kow=2.26)	情報なし	情報なし	分類できない
フェノール	生物蓄積性が低いと推定 (log Kow=1.46)	情報なし	情報なし	分類できない
イソホロンジアミン	低濃縮性 LogPow = 0.99	情報なし	情報なし	分類できない
トリエチレンテトラミン	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない
4-ターシャリーブチルフェノール	情報なし	情報なし	情報なし	分類できない

## 13 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

## 汚染容器及び包装

- ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	2735
国連品名	ポリアミン類(液体)(腐食性のもの)
国連分類	8 腐食性物質類
容器等級	III
環境有害性	・海洋汚染物質に該当
陸上輸送	・消防法,労働安全衛生法,毒物劇物取扱法に該当する場合は,各法令の輸送に定めるところに従う。
海上輸送	・船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	・航空法に定めるところに従う。
特別な安全対策	・取り扱い及び保管上の注意の候の一般注意事項に従う。 ・容器に漏れのないことを確かめ,転倒,落下,損傷がないように積込み,荷崩れ防止を確実にすること。 ・火気厳禁,天地無用

## 15. 適用法令

消防法	第4類第三石油類 危険等級III 指定数量 2000L
労働安全衛生法	・名称等を表示すべき有害物(法57条の1,施行令第18条の2別表第9) (ペンタエチレンヘキサミン,4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,フェノール,1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸) ・名称等を通知すべき有害物(法57条の2,施行令第18条の2別表第9) (ペンタエチレンヘキサミン,4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,イソホロンジアミン,フェノール, 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸,トリエチレンテトラミン) ・皮膚刺激性有害物質 (4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸) ・皮膚吸収性有害物質 (4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン) ・リスクアセスメントを実施すべき危険有害物質 (ペンタエチレンヘキサミン,4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,イソホロンジアミン,フェノール, 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸,トリエチレンテトラミン)
労働基準法	・労働省通達基発477号による表示 (変性脂肪族ポリアミン) ・疾病化学物質 (4-ターシャリブチルフェノール,フェノール) ・感作性物質 (4-ターシャリブチルフェノール)
化管法(PRTR法)	・第一種指定化学物質 (フェノール;0.6%,ペンタエチレンヘキサミン;11.2%,) ・第二種指定化学物質 (4-ターシャリブチルフェノール;1.3%,トリエチレンテトラミン;0.2%)
毒物及び劇物取締法	・該当しない
化審法	・優先評価化学物質 (フェノール)
航空法	・該当する (ペンタエチレンヘキサミン,4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,イソホロンジアミン,フェノール, 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸,トリエチレンテトラミン)
船舶安全法	・該当する (ペンタエチレンヘキサミン,4-ターシャリブチルフェノール,メタキシレンジアミン,イソホロンジアミン,フェノール, 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサシ, N-アミノエチルピペラジン,サリチル酸,トリエチレンテトラミン)
海洋汚染防止法	・Y類物質 (イソホロンジアミン,トリエチレンテトラミン) ・Z類物質 (N-アミノエチルピペラジン)
港則法	・該当する (4-ターシャリブチルフェノール,イソホロンジアミン, N-アミノエチルピペラジン,トリエチレンテトラミン)
大気汚染防止法	・該当する (4-ターシャリブチルフェノール,フェノール,トリエチレンテトラミン)
水質汚濁防止法	・該当する (4-ターシャリブチルフェノール,フェノール)

## 16. その他の情報

主な参考資料	1) 化学物質総合情報提供システム (独)製品評価技術基盤機構 2) 許容濃度の勧告(2021年度) 産業衛生学会雑誌 3) 既存化学物質安全性点検データ 日本化学物質安全・情報センター 4) JIS Z 7252(2019) GHSに基づく化学物質等の分類方法 5) JIS Z 7253(2019) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 —ラベル,作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
--------	--

コメント	記載内容は現時点で入手できる資料,データに基づいて作成しておりますが,記載のデータや評価に関しては,いかなる保証をなすものではありません。新たな情報入手した場合には,追加・修正を行い改訂いたします。また,注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって,特別な取扱いをする場合には用途・用法及び状況に適した安全対策を実施の上,ご利用下さい。
------	---